

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGsの達成を目指し、Mastery for Serviceを体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける5つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
【知識・技能】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会で用いられているAI等のテクノロジーが持つ機能や役割、実例などの基礎的な情報を自分の言葉で説明することができる</li> <li>・簡単なプログラムを使って実際にAIを動かすことができる</li> </ul>	
【思考力・判断力・表現力】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的課題について調べ、AI等のテクノロジー活用した解決方法を提案することができる</li> <li>・AIが人々、社会にとって正しく活用されるための倫理的判断をすることができる</li> <li>・テクノロジーが人間個人、社会に与える影響を考察することが出来る</li> <li>・上記事項について、他者に適切に提示/説明することができる</li> </ul>	
【学びに向かう力・人間性】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIや新たな技術開発、イノベーションについてより深く知ろうとし、それを用いて解決しようとする姿勢を持つことが出来る</li> <li>・社会的課題に向き合う中で、AIなどに代表されるテクノロジーと上手に共生する必要があることに気づき、人間の本来の生き方について追求することができる</li> </ul>	

授業日	9/17(火)	2 学期授業回数	2 回目 / 全 10 回																																
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②【思考力・判断力・表現力】①②【学びに向かう力・人間性】①②③ 本時の具体的な目標 ・自分の発表内容を客観的に振り返ることができる																																		
時間 授業内容	10 分	・ 教員からの前回の発表の総括 <以下、全てを学びの記録に記載>																																	
	25 分×2	1) 5 人×5 グループ、4 人×2 グループ これを 2 ターン → 学びの記録 「1」の部分 ・ 4 分間、友人から質疑を受け回答する。質疑応答自分が言われたことをメモする																																	
	15 分	2) 教員の全体へのコメント ロイロ 1 枚でまとめる → 学びの記録「1」の部分																																	
	15 分	3) 夏休みの宿題を見ながら、事実や実際の AI 活用を確認する、日経新聞で調べる なければ新たな類似品がないか調べる → 学びの記録「2」の部分																																	
	15 分	4) 自分が今後調べるべきことは何か (AI の機能、社会課題の周辺知識など)を整理する → 学びの記録「3」の部分																																	
評価方法	学びの記録 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">観点1 考察</th> <th colspan="2">観点2 考察</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>プレゼンについてしっかりと振り返って記述できている</td> <td>A</td> <td>(日経・共有ノート) で得た知識と自分のプレゼンのつながりをしっかりと</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>プレゼンについてある程度振り返って記述している</td> <td>B</td> <td>(日経・共有ノート) で得た知識と自分のプレゼンのつながりを整理して</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>プレゼンについて振り返りが記述されていない</td> <td>C</td> <td>表層的な感想や意見にとどまっている</td> </tr> <tr> <th colspan="4">観点3 考察</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>AI活用を考えるために必要なことをしっかりと理解し、具体的に記述でき</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>AI活用を考えるために必要なことをある程度理解し、具体的に記述でき</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>表層的な感想や意見にとどまっている</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			観点1 考察		観点2 考察		A	プレゼンについてしっかりと振り返って記述できている	A	(日経・共有ノート) で得た知識と自分のプレゼンのつながりをしっかりと	B	プレゼンについてある程度振り返って記述している	B	(日経・共有ノート) で得た知識と自分のプレゼンのつながりを整理して	C	プレゼンについて振り返りが記述されていない	C	表層的な感想や意見にとどまっている	観点3 考察				A	AI活用を考えるために必要なことをしっかりと理解し、具体的に記述でき			B	AI活用を考えるために必要なことをある程度理解し、具体的に記述でき			C	表層的な感想や意見にとどまっている		
観点1 考察		観点2 考察																																	
A	プレゼンについてしっかりと振り返って記述できている	A	(日経・共有ノート) で得た知識と自分のプレゼンのつながりをしっかりと																																
B	プレゼンについてある程度振り返って記述している	B	(日経・共有ノート) で得た知識と自分のプレゼンのつながりを整理して																																
C	プレゼンについて振り返りが記述されていない	C	表層的な感想や意見にとどまっている																																
観点3 考察																																			
A	AI活用を考えるために必要なことをしっかりと理解し、具体的に記述でき																																		
B	AI活用を考えるために必要なことをある程度理解し、具体的に記述でき																																		
C	表層的な感想や意見にとどまっている																																		
宿題指示	・ 学びの記録を書き上げる ・ 日経新聞またはその他リソースから、新たな「社会課題」「AI」カードを1つずつ作成する → ロイロの提出箱に提出+共有ノートに共有																																		